

第56回「全国漆器展」

～ 審査講評 ～

開催日時： 令和3年9月16日（木）15：00～18：40
（審査会）

会 場： 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 大会議室
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22-2F

出品産地：	津 軽 塗（青 森 県）	川連漆器（秋 田 県）
	会 津 塗（福 島 県）	木曾漆器（長 野 県）
	村上木彫堆朱（新 潟 県）	高岡漆器（富 山 県）
	輪 島 塗（石 川 県）	山中漆器（石 川 県）
	金沢漆器（石 川 県）	越前漆器（福 井 県）
	香川漆器（香 川 県）	宮崎漆器（宮 崎 県）

賞の種別：

●団体賞 桂宮賞、内閣総理大臣賞、日本経済新聞社賞

●個人賞 -産業工芸品部門-

経済産業大臣賞

経済産業省製造産業局長賞

(株)商工組合中央金庫社長賞

(公財)日本デザイン振興会賞

(一財)生活用品振興センター理事長賞

(特非)食空間コーディネーター協会賞

日本漆器協同組合連合会理事長賞

審査員特別賞

奨励賞

-美術工芸品部門-

農林水産大臣賞

林野庁長官賞

日本経済新聞社賞

(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞

(一社)日本百貨店協会会長賞

全国漆業連合会会長賞

(一社)日本漆工協会理事長賞

審査員特別賞

奨励賞



第56回「全国漆器展」審査総評

世の中が落ち着かない中であるが、今年も全国から多くの作品が寄せられた。日本の各産地の作り手の意識が高く、そのどれもが提案性を秘めて魅力的である。

本年度は、機能性を重視し、量産のできる産業工芸品部門に57点、技術力、表現力を重視し、少量生産の美術工芸品部門に40点の応募があった。これは各産地で絞られてきた中での応募であり、出品数が昨年より増えたことは嬉しいことである。

両部門8人ずつの審査員が一点一点を丁寧に見て回る。作品と題名しか情報が無い中で、各々が点数を入れていく。全員の点数を積み上げ、受賞候補作品が決まっていくが、候補作品はいずれも個性的で、甲乙がつけ難い。ここから、お互いに作品の良いところを述べ合い、各賞が決定していった。

審査員の構成は女性5人を含む様々な分野で活躍をしている方で、多くの視点での評価であったことが特筆すべき点である。

今回の展覧会が漆器を使う文化が、世界へ、次世代への大きな転換点になり、今後の漆芸界のあり方に大きな力になると祈念している。

また、本年度の11月10日を「漆塗りのお椀でご飯をいただく記念日」として制定することが決まり、本展覧会にも各産地から漆塗りのお椀が集まったことは、食文化への再提案であり、漆器業界が大きく発展することと期待している。

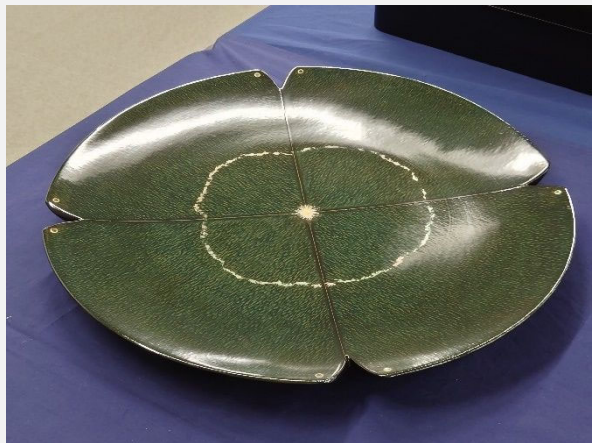


第56回全国漆器展
審査員長 三田村有純 記

§ 目次 §

§ 審査総評	1
§ 目次	2
§ 審査講評	
-美術工芸品部門-	
農林水産大臣賞、林野庁長官賞	4
日本経済新聞社賞、(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞	4
(一社)日本百貨店協会会長賞、全国漆業連合会会長賞	5
(一社)日本漆工協会理事長賞、審査員特別賞	5
奨励賞	6
-産業工芸品部門-	
経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞	8
(株)商工組合中央金庫社長賞、(公財)日本デザイン振興会賞	8
(一財)生活用品振興センター理事長	9
(特非)食空間コーディネーター協会賞	9
日本漆器協同組合連合会理事長賞、審査員特別賞	9
奨励賞	10
§ 審査員	11
§ 審査方法と結果	12
§ 参考資料	15
歴代大賞受賞作品一覧 (個人賞)	16
歴代受賞一覧 (団体賞)	17

**美術工芸品部門
受賞作品**



農林水産大臣賞
[大皿(クローバー)]
渡辺漆器店(香川漆器)

幸運をもたらすと言われる四つ葉のクローバー、この皿を使う人に幸せが訪れると作者は考えたのであろう。挽物の丸い器の4箇所切れ込みを入れ、シンプルに葉をデザインしたのが審査員の心を掴んだ。また、丸く切り抜かれた螺鈿の配置や変わり塗りで葉の色を表現し単調に見せないのも効果的で優作である。欲を言えば螺鈿の切り抜く技術が高ければ申し分ない。



林野庁長官賞
[長角膳 春秋沈金]
岡垣漆器店(輪島塗)

沈金は特殊な刀で漆面を彫り、その溝に金を入れ文様を表す技法。作者のコンセプトは「吸い込まれるような奥行を出すこと」。膳の全面に桜の花と紅葉を描き、重なりを緻密に表現したことで、作者の狙いが成功している。金と黒の面積、色の対比が強く審査員の目を引いた作品。技術的にも優作である。



日本経済新聞社賞
[よさり御膳揃え 春蘭秋菊]
中島忠平漆器店(輪島塗)

作品のタイトル「春蘭秋菊」と題し、花で埋め尽くされ、品良く美しく仕上がっている。また蓋と身で角皿を挟みコンパクトに収納できる工夫が非常に良い。組み上がったデザインもあえて黒い器が見えるようにしているのが魅力的である。こんな華やかに飾られた器で晩酌をしてみたい!と審査員の声。



一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞
[円心膳 市松]
松原紗霧(越前漆器)

一見、朱と金の市松模様。よく見ると有職文様で連続的に文様が繰り返されている。シンプルではあるが細部まで丁寧に彫りが施され、優美で格調高く仕上がっている。膳の大きさに対して文様の大きさ、朱と金の色も心地良く見え、もちろん技術的にも優作である。



一般社団法人日本百貨店協会会長賞

[丸盆 彩色キンマ]

文新堂漆器工業(香川漆器)

蒟醬とは、漆塗り面に特殊な刃物で文様を彫り、その溝に色漆を充填し研ぎ出し、磨き上げる技法。硬化した塗膜を彫るため、この作品の筆で描いたような柔らかい曲線は難度が高く、技術力も申し分ない。植物のような有機的な模様を規則的に構成し、丸い器の形に効果的に纏め上げている。南国のフルーツを盛ると、いい感じ！と審査員の声。



全国漆業連合会会長賞

[玉虫張天使蒔絵小箱]

角知漆器店(輪島塗)

玉虫の羽の色が輝き、白漆の上に描かれた天使や植物は西洋的な雰囲気、他の応募作品とは違う空気感を出していた。内側は漆塗りの仕上げではなく、布が貼られており質の差が心地よい。仕事が美しく繊細、巧みな蒔絵技術を有し、気品ある仕上がりになっている。前々回の作品よりも少し大きい箱で意匠は同じとのこと、作者の新しいデザインを期待している。



一般社団法人日本漆工協会理事長賞

[盛器「錦秋の嚮陽溪」]

駒本長信(越前漆器)

乾漆とは、材料に漆と麻布と土を用いる。利点は、自由に造形ができ軽量に仕上げられる。また湿度変化での変形や割れなどがない点が挙げられる。しかしながら大変時間がかかる技法である。この作品は水面の柔らかな揺らめきが上手く表現されている。鯉、木々の紅葉を金蒔絵で仕上げ秋の美しさが表現できている。欲を言えば器の縁の処理に緊張感があるよかった。



審査員特別賞

[リンザー20(サービステーブル)]

株式会社森繁(香川漆器)

シンプルなフォルム、天板には青と紫で描かれ洗練されたデザインに仕上がっている。漆製品を現代の生活空間に取り入れる挑戦に好感が持て審査員特別賞に。技術的にも非常に高く優作である。実際にホテルにあったら嬉しい！と審査員の声。



奨励賞
[小紋 莩入]
株式会社能作(金沢漆器)

唐人笠をモチーフにした掌に収まる小さな可愛らしい莩入れ、金時絵と螺鈿の輝きが魅力的な作品。技術力は高いが、小さいからこそ、もっともっと緻密に装飾して欲しい、少し物足りなさを感じるとの厳しめな審査員の声。いま一步、票を集めることができなかった。



奨励賞
[印籠型 かぶせ蓋 暖]
武安隆司(越前漆器)

飾り気の無い塗り立ての黒い箱、容易に見えるが実はすごい。回転体の塗りと比べると、はるかに難しい角物。この作品は塵が落ちていない、塵が漆に入ると梨肌のようなになるので、道具や環境すべてに神経を使う。それだけではなく漆の硬化、粘性を熟知し経験がなければ作れない技術力の高い作品である。欲を言えば印籠蓋の合口の下地の精度を上げたい。



奨励賞
[存清二段箱(魚)]
漆工房 佐々木(香川漆器)

川の流れを青、緑、白の色漆で変わり塗りで表現し、2匹の魚が涼しげに泳ぐ様子が心地良く審査員の票が集まった。しかし蓋を開けると、擦り漆仕上げで内側、外側のバランスが悪く順位を落とした。非常に勿体無い。内側に心を掴む何かがあると上位に入っただろう。



審査風景(美術工芸品部門)

產業工藝品部門
受賞作品



経済産業大臣賞
[カフェボウル カラータイプ]
有限会社イシオカ工芸(津軽塗)

産業工芸品部門審査員票で、今回ダントツの1位でした。伝統技法を活かしつつもモダンさがあり、現代の生活に馴染みそうです。地の色と研ぎ出した模様の絶妙な配色、バランスがここを掴みます。日常生活に彩りを与えてくれそうです。



経済産業省 製造産業局長賞
[陶漆 五色片口小鉢]
株式会社土直漆器(越前漆器)

漆ならではの滑らかな質感を持ちながら、派手すぎず地味すぎず、それでいて現代的な形状を持ち、ポップでかわいいと審査員から高い評価を得ました。色とりどりの漆器で、毎日の食事が楽しくなりそうです。



株式会社商工組合中央金庫社長賞
[カップアンドソーサー 蒔地]
秋田・川連塗・寿次郎(川連漆器)

蒔き地独特の質感もあり一見重そうに見えるカップ。持ってみるとその軽さに驚きます。漆器の特性を生かした表現、好印象です。漆器ならではの軽さを大切にしながら、それでいてモダンなデザイン。日々の使用が楽しくなりそうです。



公益財産法人日本デザイン振興会賞
[木製 カップ&ソーサー 黒艶消し漆塗り]
あたかや(越前漆器)

ソーサーとカップを必ず対として使用するという、一見変わった仕組みに感じますが、実物はとてもシンプルで洗練されたデザインにまとめられています。つや消しの質感とあえて高台のない丸いデザイン、遊び心ある面白い試みと感じます。友人とのお茶の時間に会話がはずみそうです。



一般財団法人生活用品振興センター理事長賞
 [溜塗曲物造三段重]
 瀧澤直樹(木曾漆器)

シンプルに使いやすそう。それでいて堅牢な作り。これ、産業工芸品においてとても大事なことです。家に1つあると何かと便利だと感じます。世代を超えて、長く使っていくことができそうです。



NPO 法人食空間コーディネイト協会賞
 [スープカップ&トレー]
 利山(川連漆器)

トレーの窪みには薬味を入れたり、スープに合わせてゆで卵を置いたり？審査会場では、私だったらこう使う！という大喜利のような状態になり楽しい空気でした。自身の発想で自由に使える、という点が評価に繋がったのだと思います。色がとても綺麗な点も好印象です。



日本漆器協同組合連合会理事長賞
 [椀 螺鈿 桜/紫陽花]
 武蔵川剛嗣(高岡漆器)

螺鈿によるとても綺麗で可愛らしい柄が印象的です。蓋をぱっと開けたとき、蓋の裏側にも小さく螺鈿のお花があり、そういった細かい気配り、喜びを感じられるお椀です。お客さまが来た時に出しても会話に花が咲きそうですね。



審査員特別賞
 [椀 三ツ組 三日月ボール 赤・黒]
 有限会社中出漆器店(山中漆器)

木地の彫りを中心からずらし、口縁の厚さに変化を持たせ月のかたちに見立てたデザイン。技術的に加工が難しいと想像出来ますが、シンプルでありとても洗練されていて魅力的です。箔が少し派手かなという意見もありましたが、使い込まれていくうちに味になるだろうと期待出来ます。まさに漆器ならではの魅力なのではないでしょうか。



奨励賞

[八角かすみ透し盆 麻和紙白ぼかし・七宝和紙白ぼかし]
株式会社中野(越前漆器)

伝統技法を使いつつも、現代的にアレンジされている点が高く評価されました。落水紙の七宝や麻の葉模様が白漆によって浮かび上がり、繊細でとても美しいですね。日常にも使いやすそうです。



奨励賞

[宗碗の食卓]

漆工房 石本玉水(木曾漆器)

「子どもさんがお誕生日にもらったら嬉しいでしょうね、一人前として扱われたようで。」というご意見もあり、堂々とした安心感があります。こういう食器で子どもの頃からずっと食事をしていたら、将来漆器に対する理解も変わってくるのだと思います。伝統的でありながらモダンな空気もあり、長く使っていききたい逸品です。



奨励賞

[虎斑先端八角箸 4色]

巢山定一(木曾漆器)

伝統技法で丁寧に作られたお箸ですが、こういったお箸を日常に使うことが、日本の漆を知るうえでとても大事なことと感じます。これからもずっと日本の漆器を使って欲しい、という、審査員からの気持ちを込めての受賞です。良いお箸を大切に、上手に使う。日本人の食の基本がここにあります。



審査風景(産業工芸品部門)

【審査員】

審査員長	東京藝術大学 参与 名誉教授 三田村有純	
部門	産業工芸品	美術工芸品
審査 部門長	東京藝術大学デザイン科 准教授 鈴木 太朗	東京藝術大学工芸科 准教授 青木 宏憧
審査員	経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長補佐 関口 直人	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室長 塚田 直子
	江上料理学院 院長 江上 栄子	公益社団法人全国調理師養成施設協会 会長 服部 幸應
	公益財団法人日本デザイン振興会 常務理事 村上 樹人	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事 原田 元
	一般財団法人生活用品振興センター 理事長 中川 繁樹	株式会社世界文化社 執行役員 今井 朗子
	NPO 法人食空間コーディネート協会 副理事長 浜 裕子	東京藝術大学工芸科 助教 今井 美幸
	東京都漆器商工業協同組合 理事長 高木 為嗣	全国漆業連合会 副会長 大内 隆
	日本漆器協同組合連合会 理事長 土田 直	一般社団法人日本漆工協会 理事長 玉川 義隆

(敬称略・順不同)



【審査方法と結果】

各産地の予備審査を経て出品された「美術工芸品部門40作品」、「産業工芸品部門57作品」を対象として、審査員は各部門の評価ポイントの評価などを勘案し、以下の手順で審査を実施した。

審査部門	出品内容	出品条件	評価ポイント			
			市場性	デザイン性	技術力	機能性 (日常性)
			「購入する」観点での評価			
			・販売ターゲットが明確 ・価格設定が優れている	・見た目に美しい ・使い勝手に優れている	・卓越した技術力、伝統的な技法の採用 ・革新的な技術の採用	・現在のライフスタイルにあった機能の保持 ・新たな提案
美術工芸品	漆器	新作少量品	○	○	◎	△
産業工芸品	漆器 合成漆器	新作品量産品	○	○	△	◎

1. 担当部門の10作品を選出。
2. 選出した作品毎に、各評価ポイントを「非常によい」「よい」「ふつう」の3段階で評価したうえで投票。
3. 投票を集計し、総得票数の上位15作品程度を最終候補作品として、以下の手順で個人賞を決定。

～個人賞の決定手順～

産業工芸品部門	分類	美術工芸品部門
経済産業大臣賞 経済産業省製造産業局長賞	①官公庁	農林水産大臣賞 林野庁長官賞
(株)商工組合中央金庫社長賞	②公的・公共機関	日本経済新聞社賞
(公財)日本デザイン振興会賞 (一財)生活用品振興センター理事長賞 (特非)食空間コーディネーター協会賞 日本漆器協同組合連合会理事長賞	③業界団体	(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞 (一社)日本百貨店協会会長賞 全国漆業連合会会長賞 (一社)日本漆工協会理事長賞
審査員特別賞 奨励賞	④審査会	審査員特別賞 奨励賞

- (1) 分類①の各賞については、得票数上位2作品より決定した。
- (2) 分類②の各賞については、得票数3番目の作品より決定した。
- (3) 分類③の各賞については、1人(社)1賞の規定により重複入賞者を除外したうえで、得票数4番目から12番目の作品を対象に、各団体の活動内容や特徴などを考慮して作品とのマッチングを行い決定した。
- (4) 分類④の各賞については、得票数15番目までの作品を対象に、産地や入賞作品のバランスなどを協議したうえで、審査員特別賞1点、及び奨励賞3点を決定した。

-美術工芸品部門(得票上位 20 作品)-

賞名	品名	出品者	産地組合
農林水産大臣賞	大皿(クローバー)	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合
林野庁長官賞	長角膳 春秋沈金	岡垣漆器店	輪島漆器商工業協同組合
日本経済新聞社賞	よさり御膳揃え 春蘭秋菊	中島忠平漆器店	輪島漆器商工業協同組合
(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞	円心膳 市松	松原紗霧	越前漆器協同組合
(一社)日本百貨店協会会長賞	丸盆 彩色キンマ	文新堂漆器工業(有)	香川県漆器工業協同組合
全国漆業連合会会長賞	玉虫張天使時絵小箱	角知漆器店	輪島漆器商工業協同組合
(一社)日本漆工協会理事長賞	盛器「錦秋の嚮陽溪」	駒本長信	越前漆器協同組合
審査員特別賞	リンザー-20(サービステーブル)	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
奨励賞	小紋 蕨入	(株)能作	金沢漆器商工業協同組合
奨励賞	印籠型 かぶせ蓋 暖	武安隆司	越前漆器協同組合
奨励賞	存清二段箱(魚)	漆工房 佐々木	香川県漆器工業協同組合
—	盛器 大空へ	山本 勝	越前漆器協同組合
—	銀彩波千鳥 煮物椀	助田幹夫	越前漆器協同組合
—	脱乾漆 椿壺	加藤漆器店	輪島漆器商工業協同組合
—	存清華模様菓子皿	漆工房 北山	香川県漆器工業協同組合
—	木曾堆朱塗り ビンテージ ハーレーダビッドソン	未空うるし工芸	木曾漆器工業協同組合
—	蛤皿 松竹梅	大竹 勉	会津漆器協同組合
—	印籠型 中子かぶせ蓋 輝	武安隆司	越前漆器協同組合
	○△□の盛鉢	(有)クラフトアリオカ	香川県漆器工業協同組合
	溜内金地 饅頭鉢	大竹 勉	会津漆器協同組合

-産業工芸品部門(得票上位 21 作品)

賞名	品名	出品者	産地組合
経済産業大臣賞	カフェボウル カラータイプ	(有)イシオカ工芸	青森県漆器協同組合連合会
経済産業省製造産業局長賞	陶漆 五色片口小鉢	(株)土直漆器	越前漆器協同組合
(株)商工組合中央金庫社長賞	カップアンドソーサー 蒔地	秋田・川連塗・寿次郎	秋田県漆器工業協同組合
(公財)日本デザイン振興会賞	木製 カップ&ソーサー 黒艶消し漆塗り	あたかや	越前漆器協同組合
(一財)生活用品振興センター理事長賞	溜塗曲物造三段重	瀧澤直樹	木曾漆器工業協同組合
(特非)食空間コーディネート協会賞	スープカップ&トレイ	利山	秋田県漆器工業協同組合
日本漆器協同組合連合会理事長賞	椀 螺鈿 桜/紫陽花	武蔵川剛嗣	伝統工芸高岡漆器協同組合
審査員特別賞	櫛 ミツ組 三日月ボール 赤・黒	(株)中出漆器店	山中漆器連合協同組合
奨励賞	八角かすみ透し盆 麻和紙白 ぼかし・七宝和紙白ぼかし	(株)中野	越前漆器協同組合
奨励賞	宗椀の食卓	漆工房 石本玉水	木曾漆器工業協同組合
奨励賞	虎斑先端八角箸 4色	巢山定一	木曾漆器工業協同組合
—	陶漆 飛びカンナ 盛器	(株)土直漆器	越前漆器協同組合
—	ピンブローチ	武蔵川義則	伝統工芸高岡漆器協同組合
—	印鑑ケース 螺鈿 算木紋/鱗紋	(株)柴田漆器店	伝統工芸高岡漆器協同組合

賞名	品名	出品者	産地組合
—	木製 5 寸羽反り皿 木地呂	あたかや	越前漆器協同組合
—	正油さし	林 益光	越前漆器協同組合
—	長手盆 のみ目象谷塗	(株)川口屋漆器店	香川県漆器工業協同組合
—	スタッキンググラス 小	利山	秋田県漆器工業協同組合
—	漆摩カップ 和然檀シリーズ 紫檀 ビア・ハイボール	(株)ウチキ	山中漆器連合協同組合
—	TSUGUMI 丸重 盛子筋 Smoke Gray・平子筋 Black	(株)我戸幹男商店	山中漆器連合協同組合
—	堆朱箸 黒上・赤上	秋元勝彦	青森県漆器協同組合連合会

～団体賞の決定手順～

- (1) 個人得点を産地組合毎に集計した合計に、個人賞毎に設定された受賞加点を加算した総得点の上位より各賞を決定した。なお、10 作品を超える出品のある産地組合については、得票上位 10 作品までを集計の対象とした。

第 1 位[桂宮賞]	第 2 位[内閣総理大臣賞]	第 3 位[日本経済新聞社賞]
越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合

産地組合別ポイント集計表

産地組合名	美術工芸品部門					産業工芸品部門					合計	受賞加点	総得点
	市場性	デザイン性	技術力	選定件数	小計	市場性	デザイン性	機能性	選定件数	小計			
越前漆器協同組合	34	38	39	160	271	38	45	40	160	283	554	60	614
香川県漆器工業協同組合	60	57	49	230	396	7	7	6	30	50	446	53	499
輪島漆器商工業協同組合	34	39	48	190	311	2	2	3	10	17	328	50	378
伝統工芸高岡漆器協同組合	7	7	6	30	50	28	36	34	130	228	278	10	288
木曾漆器工業協同組合	6	6	4	30	46	22	22	26	110	180	226	20	246
秋田県漆器工業協同組合						24	28	27	110	189	189	30	219
青森県漆器協同組合連合会	0	0	0	0	0	22	26	23	100	171	171	30	201
山中漆器連合協同組合	1	3	3	10	17	15	18	19	80	132	149	8	157
会津漆器協同組合	11	14	12	50	87						87	0	87
金沢漆器商工業協同組合	5	7	9	30	51						51	5	56
(福)宮崎県大島振興協会						2	2	3	10	17	17	0	17
村上堆朱事業協同組合						0	0	0	0	0	0	0	0

以上

参 考 資 料
(歴代受賞一覧)

歴代(直近 18 年)大賞受賞作品一覧

-美術工芸品部門 (農林水産大臣賞)-

年度(回)	品名	生産者	産地組合
平成 16 年度(39 回)	呂色研 八角皿(3 枚組)	後藤 常夫	鳴子漆器協同組合
平成 17 年度(40 回)	波紋大皿 A・B	遠田漆器店	秋田県漆器工業協同組合
平成 18 年度(41 回)	キャビネット西都 28 黒刷毛目漆塗扉朱刷毛目	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 19 年度(42 回)	乾漆盛器	内島 正雄	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 20 年度(43 回)	十二角 三段重	吉田漆器工房	輪島漆器商工業協同組合
平成 21 年度(44 回)	乾漆輪花 盛器	内島 正雄	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 22 年度(45 回)	菊型オードブルセット	滝 健一	秋田県漆器工業協同組合
平成 23 年度(46 回)	松フチ麻布張り丸テーブル	小橋 敬一	越前漆器協同組合
平成 24 年度(47 回)	帯付小判重	津田 哲司	輪島漆器商工業協同組合
平成 25 年度(48 回)	栗朱塗平卓	小橋 敬一	越前漆器協同組合
平成 26 年度(49 回)	乾漆盛器 “越の海”	前田 利栄	越前漆器協同組合
平成 27 年度(50 回)	大盃 奇跡草蒔絵	山崎 夢舟	山中漆器連合協同組合
平成 28 年度(51 回)	乾漆皿「華麗」	山崎 夢舟	山中漆器連合協同組合
平成 29 年度(52 回)	花塗金彩盤	寿次郎	秋田県漆器工業協同組合
平成 30 年度(53 回)	オードブル容器	岡山至鳳堂	輪島漆器商工業協同組合
令和元年度(54 回)	盛皿グリーン(魚)	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合
令和 2 年度(55 回)	青海光 菓子鉢	采色塗 なか門	輪島漆器商工業協同組合
令和 3 年度(56 回)	大皿(クローバー)	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合

-産業工芸品部門 (経済産業大臣賞)-

年度(回)	品名	生産者	産地組合
平成 16 年度(39 回)	パーティー重 2 段	大橋呂色店	輪島漆器商工業協同組合
平成 17 年度(40 回)	三つ足盛器	清水 正義	越前漆器協同組合
平成 18 年度(41 回)	八角形 二段重 平台付	加藤漆器店	輪島漆器商工業協同組合
平成 19 年度(42 回)	小箱波シリーズ(櫛目研出し)	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 20 年度(43 回)	銀彩 酒器セット	撰津 広紀	秋田県漆器工業協同組合
平成 21 年度(44 回)	飾り棚「紫苑 20」彩色塗分 春の詩の図	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 22 年度(45 回)	テーブル「麗風」	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 23 年度(46 回)	KOTON black V, (Y), (U)	我戸 正幸	山中漆器連合協同組合
平成 24 年度(47 回)	テーブル折脚 風紋	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 25 年度(48 回)	二段重箱	白川 勝義	青森県漆器協同組合連合会
平成 26 年度(49 回)	飾皿(皿立付) 十二支 螺鈿・蒔絵	天野漆器(株)	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 27 年度(50 回)	カップ・コースター付 外木地呂内側銀地	山田 秀樹	越前漆器協同組合
平成 28 年度(51 回)	会席膳 五彩	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 29 年度(52 回)	引き出し (大・小) と小箱	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 30 年度(53 回)	重箱 (取り皿付)	秋元 勝彦	青森県漆器協同組合連合会
令和元年度(54 回)	JUBACO	山口 怜示	越前漆器協同組合
令和 2 年度(55 回)	八角盆(彩) 3 点セット	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
令和 3 年度(56 回)	カフェボウル カラータイプ	(株)イシオカ工芸	青森県漆器協同組合連合会

歴代受賞一覧(団体賞)

回	年	桂宮賞	内閣総理大臣賞	日本経済新聞社賞	三越賞	特別奨励賞
1	1967	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合		
2	1968	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
3	1969	東京都漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合		
4	1970	青森県漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
5	1971	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会		
6	1972	木曾漆器工業協同組合	神奈川県漆器連合会	富山県漆器商工業協同組合		
7	1973	富山県漆器商工業協同組合	富山県漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会		
8	1974	石川県漆器連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	
9	1975	長野県木曾漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	
10	1976	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合	
11	1977	木曾漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	富山県漆器商工業協同組合 会津漆器協同組合連合会 越前漆器協同組合
12	1978	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合 富山県漆器商工業協同組合 越前漆器協同組合
13	1979	富山県漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	京都漆器工芸協同組合	木曾漆器工業協同組合 香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合
14	1980	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	富山県漆器商工業協同組合		会津漆器協同組合連合会 木曾漆器工業協同組合 越前漆器協同組合
15	1981	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合 越前漆器協同組合 山中漆器連合協同組合
16	1982	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会 香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合
17	1983	青森県漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合 越前漆器協同組合
18	1984	木曾漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合 輪島漆器商工業協同組合 香川県漆器工業協同組合
19	1985	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会 青森県漆器協同組合連合会 木曾漆器工業協同組合
20	1986	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	会津漆器協同組合連合会 越前漆器協同組合 東京都漆器商工業協同組合
21	1987	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合 越前漆器協同組合 山中漆器連合協同組合
22	1988	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合
23	1989	秋田県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合
24	1990	越前漆器協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合
25	1991	青森県漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	秋田県漆器工業協同組合
26	1992	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合
27	1993	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合
28	1994	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
29	1995	山中漆器連合協同組合	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合		秋田県漆器工業協同組合
30	1996	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合		青森県漆器協同組合連合会
31	1997	伝統工芸高岡漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合		越前漆器協同組合
32	1998	輪島漆器商工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
33	1999	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合	青森県漆器協同組合連合会		
34	2000	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
35	2001	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合		
36	2002	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
37	2003	会津漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合		
38	2003	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合		
39	2004	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	鳴子漆器協同組合		
40	2005	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
41	2006	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
42	2007	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合		
43	2008	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合		
44	2009	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
45	2010	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
46	2011	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	山中漆器連合協同組合		
47	2012	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
48	2013	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合		
49	2014	—	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合		
50	2015	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
51	2016	山中漆器連合協同組合	香川漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
52	2017	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合		
53	2018	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
54	2019	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
55	2020	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合		
56	2021	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		

本歴代入賞一覧は「全国漆器展」に名称が変更になってからの一
覧であり、それ以前の情報については事務局では管理していない

2003年は2月開催から秋(9,10月)開催への切替のため、同年度に2
度の開催

※桂宮賞の名称については以下の通り
・第21回までは高松宮賞
・第22回は三笠宮賞

※第1～2回の高松宮賞・内閣総理大臣賞・日本経済新聞賞の名称
はについては以下の通り
・高松宮杯
・内閣総理大臣杯
・日本経済新聞社盾

2014年度(第49回展)の桂宮賞の交付について
2014年6月8日に桂宮宣仁親王殿下が薨去されたため、当該年度の
交付申請を見送る

第 56 回「全国漆器展」審査講評

令和 3 年 9 月 27 日制作

制 作 日本漆器協同組合連合会 事務局
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目 15 番 2 号 松島ビル 4F
一般財団法人生活用品振興センター内
TEL 03-3639-8882 FAX 03-3639-8880 E-mail info@shikki.or.jp
URL <http://www.shikki.or.jp/>

本資料を引用・転載する場合は、制作宛にご一報ください。

なお、日本漆器協同組合連合会会員においてはこの限りではありません。